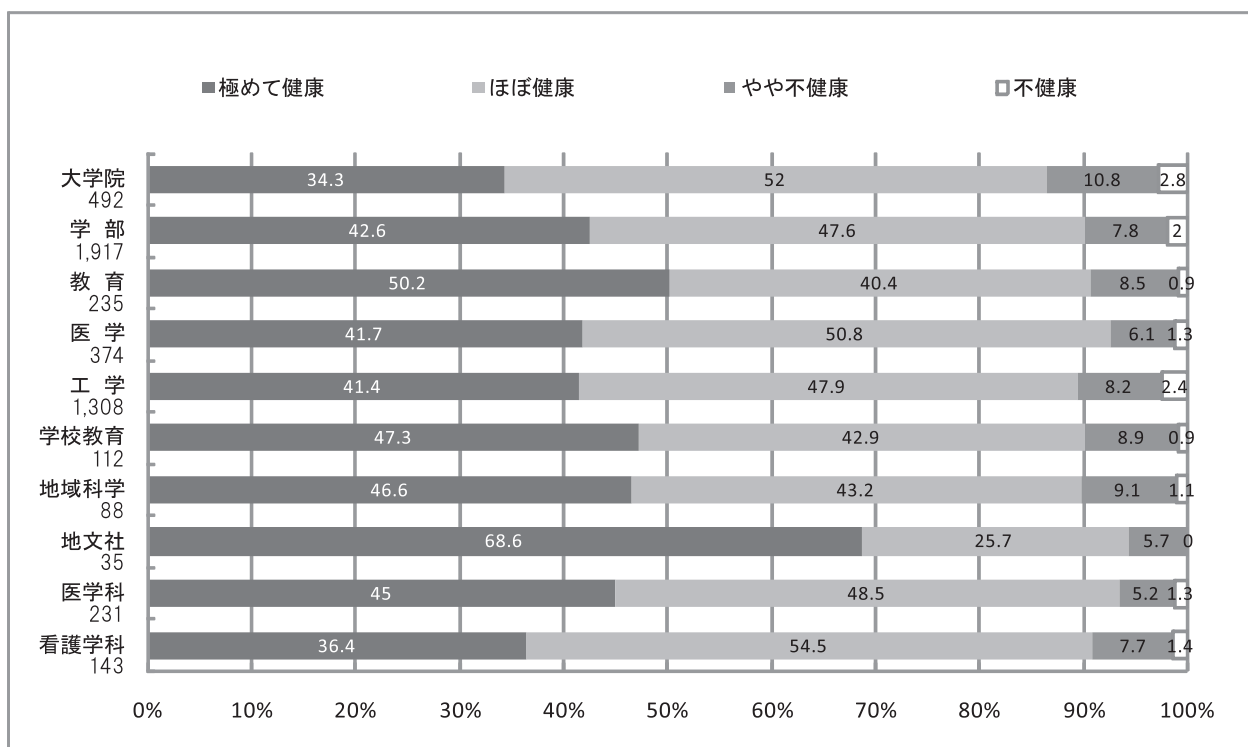


F あなたの健康状態

F1-1 現在の健康状態

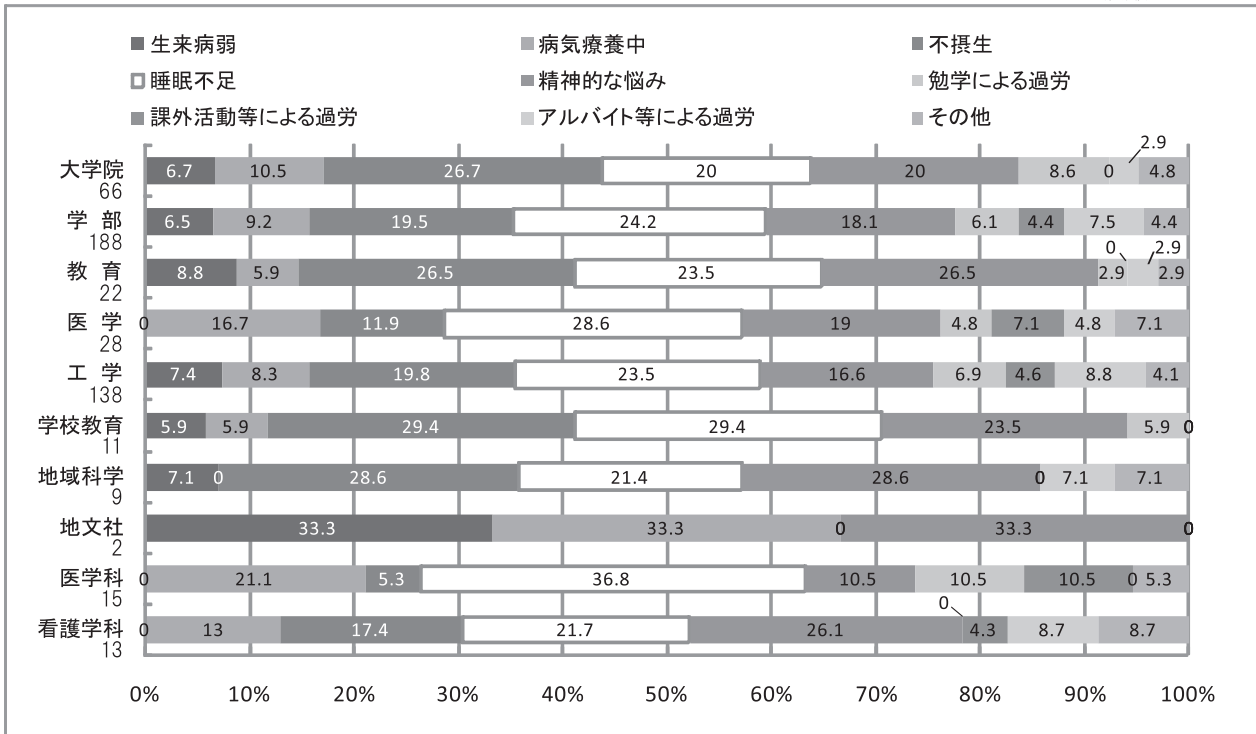


□概要

平成12年度の結果と比べると、「健康である(a+b)」が10%以上増加し9割以上の学生が健康であると自覚している。「不健康である(c+d)」は、10%以下に減少している。

F1-2 不健康の理由

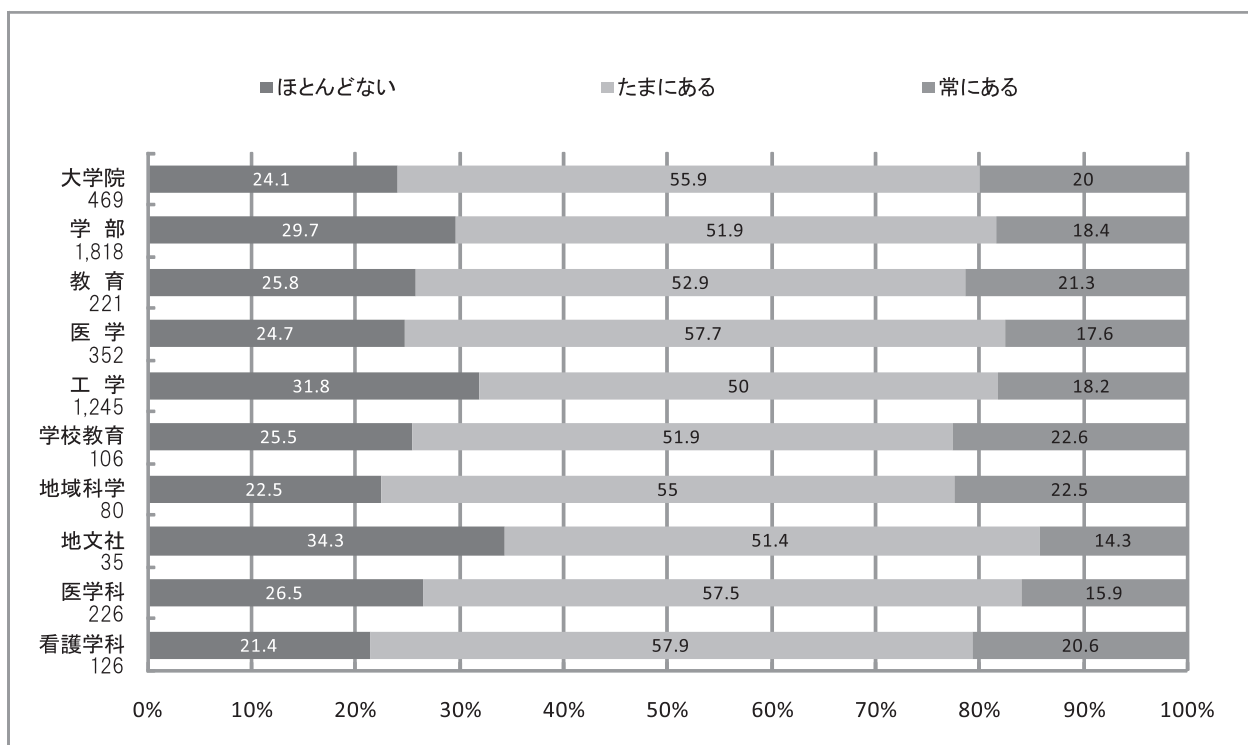
(複数回答)



□概要

平成 12 年度では、1 位「不摂生」、2 位「精神的な悩み」、3 位「アルバイトによる過労」であったが、今回は 1 位「睡眠不足」、2 位「不摂生」、3 位「精神的な悩み」と変化している。睡眠不足と回答した者は、前回の 15% から 38% と大きく増加した。

F2-1 悩み・不安の有無

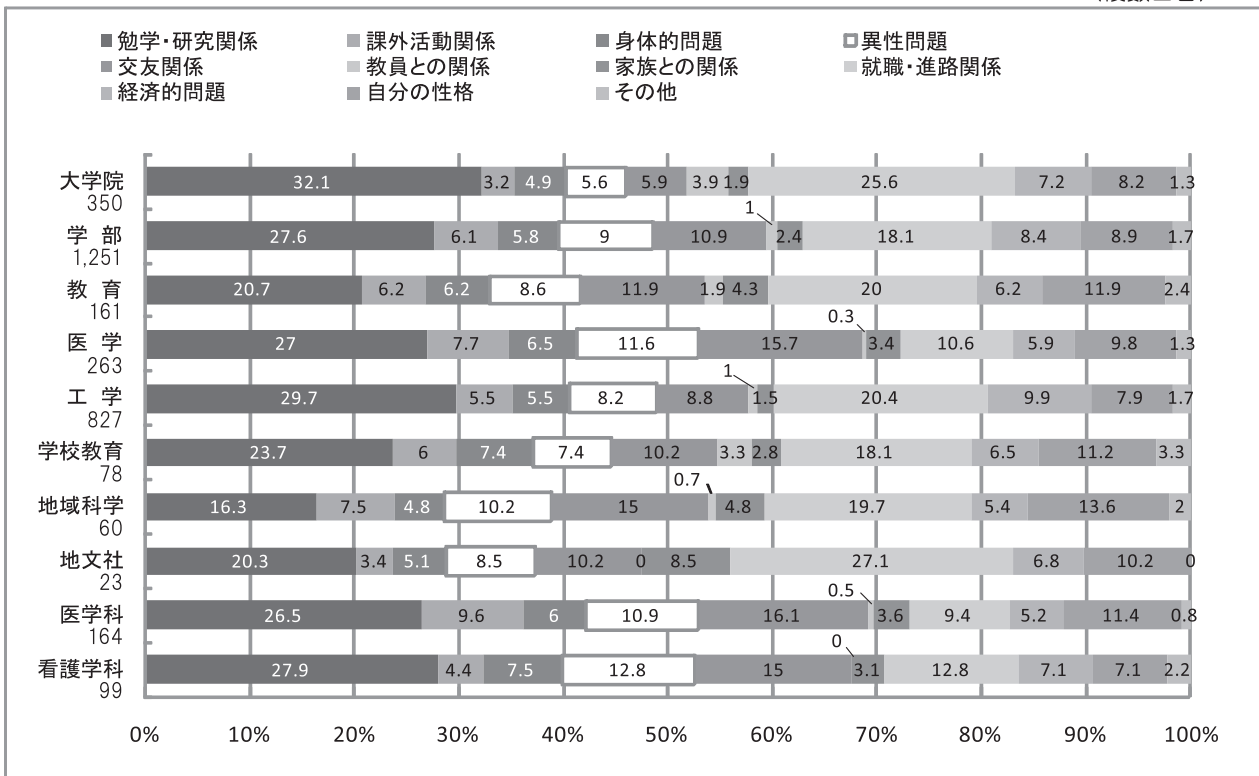


□概要

平成 12 年度と同様に、7 割近い学生が何らかの悩み・不安を抱えている。「常にある」を選んだ学生は、平成 12 年度と比べて若干減少している。

F2-2 悩み・不安の内容

(複数回答)

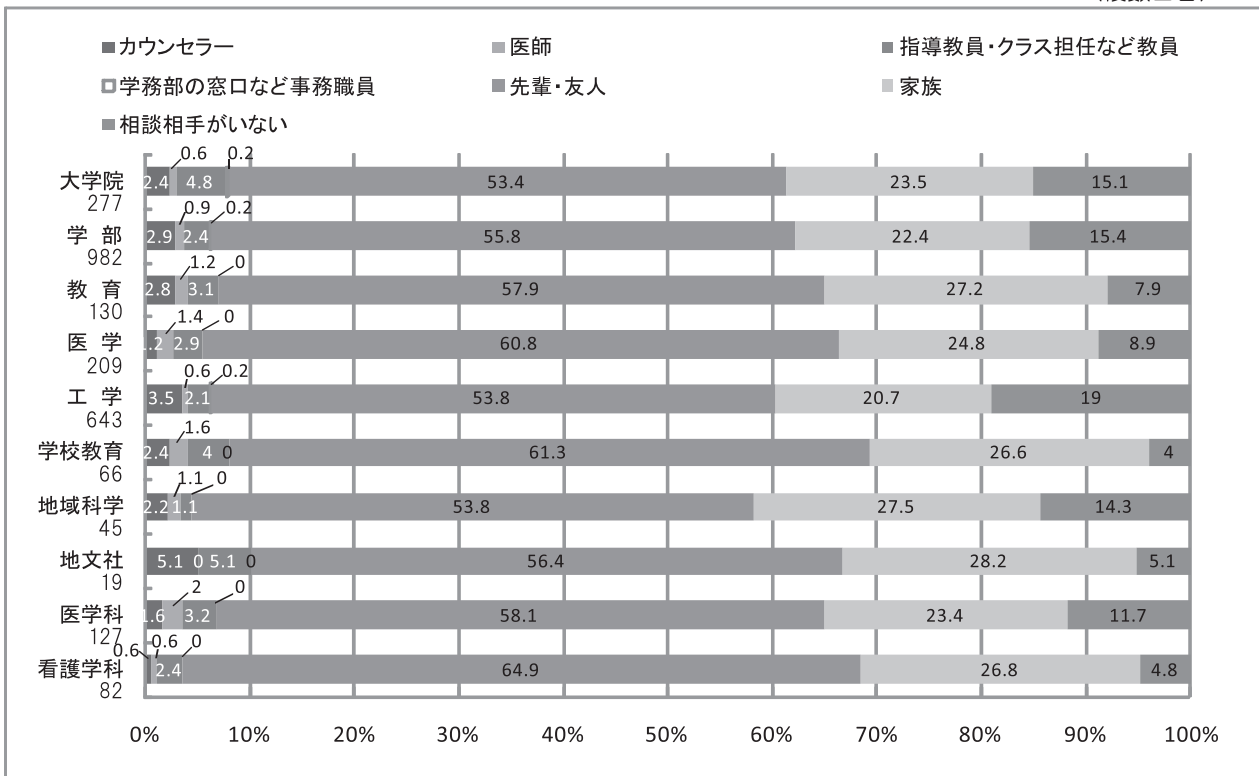


□概要

悩み・不安を抱える学生の5割～6割が、「勉学・研究関係」「就職・進路関係」といった大学と直接関わることに不安を感じていて、この点では平成12年度と変化はない。続く悩みとして、平成12年度は異性問題、経済問題となっていたが、今回は交友関係、異性問題、自分の性格と変化していた。異性よりも同性との交流や自分自身との付き合い方に悩む学生が増加している。

F2-3 悩み・不安の相談相手

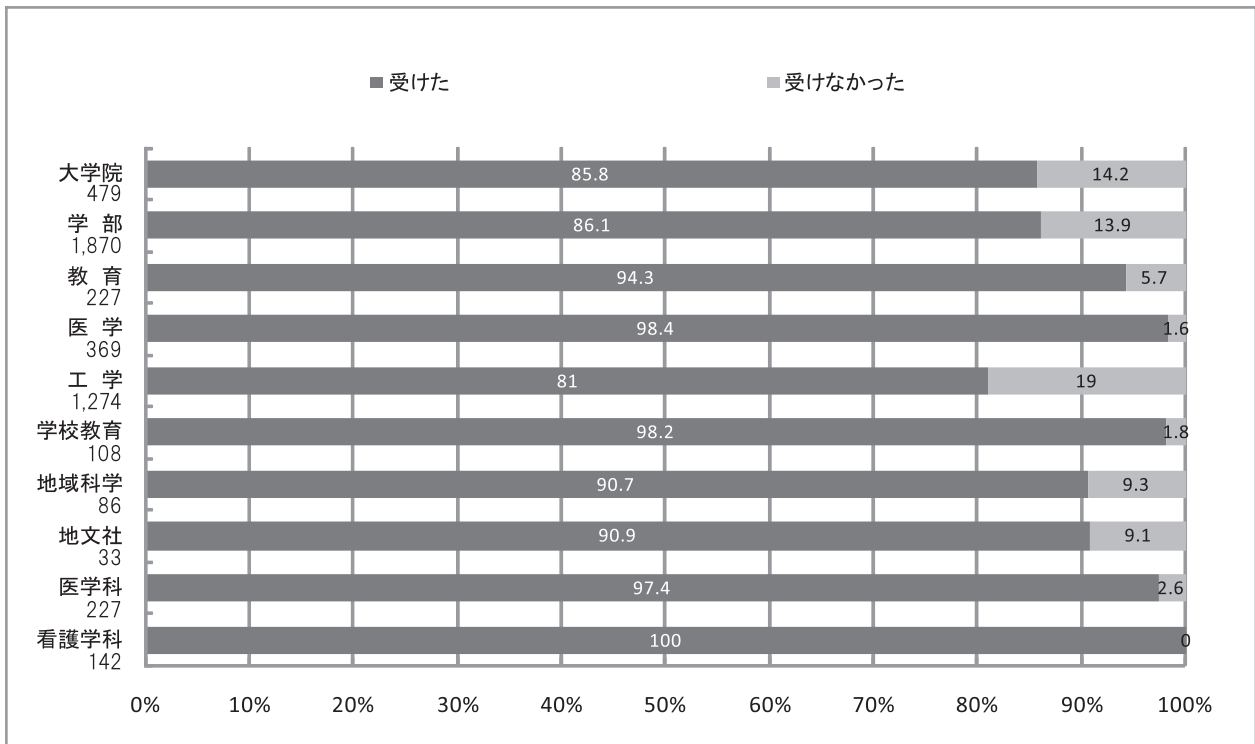
(複数回答)



□概要

1位「先輩・友人（85%）」、2位「家族（34%）」、3位「カウンセラー（4.4%）」となったが、「相談相手がない（23%）」は気になるところである。

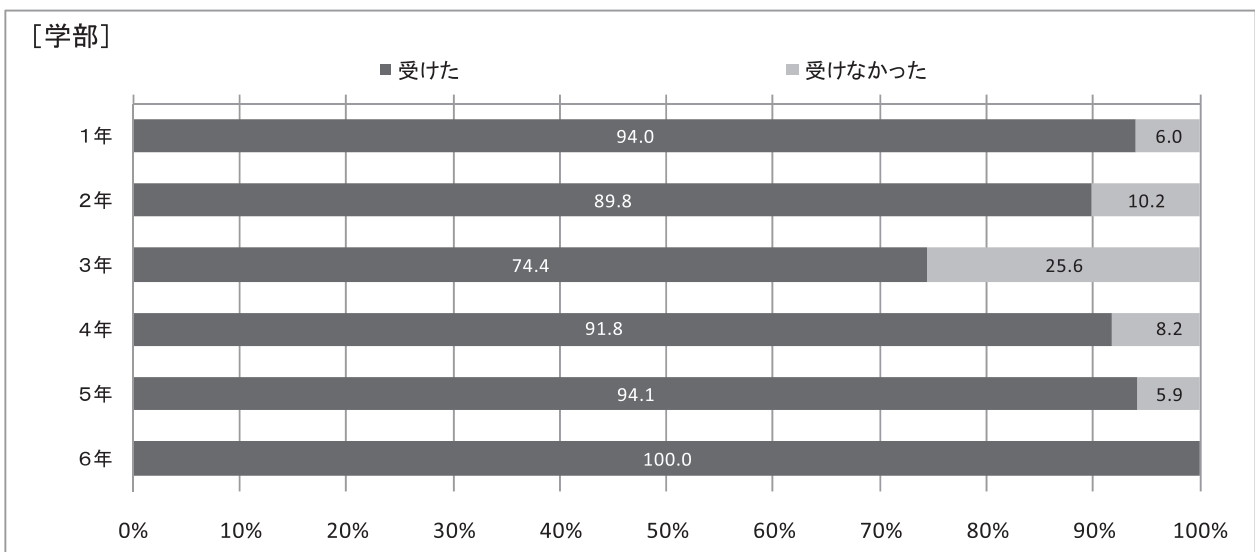
F3-1 健康診断（大学での今年健康診断）



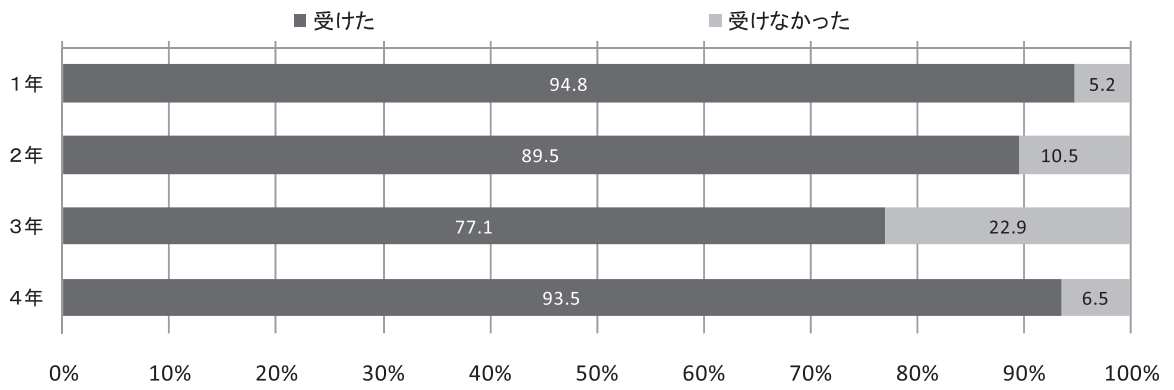
□概要

平成12年度は、「受けた」は89%、「受けなかった」は11%であったが、今回は、「受けた」は86%、「受けなかった」は14%であった。若干受診率が低下している。

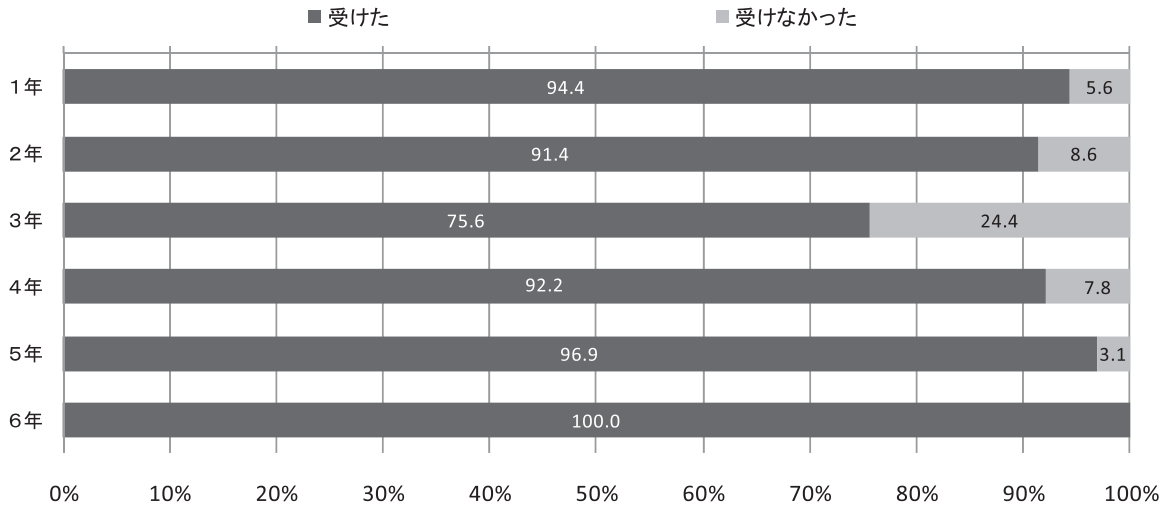
F3-1 健康診断（学年別）



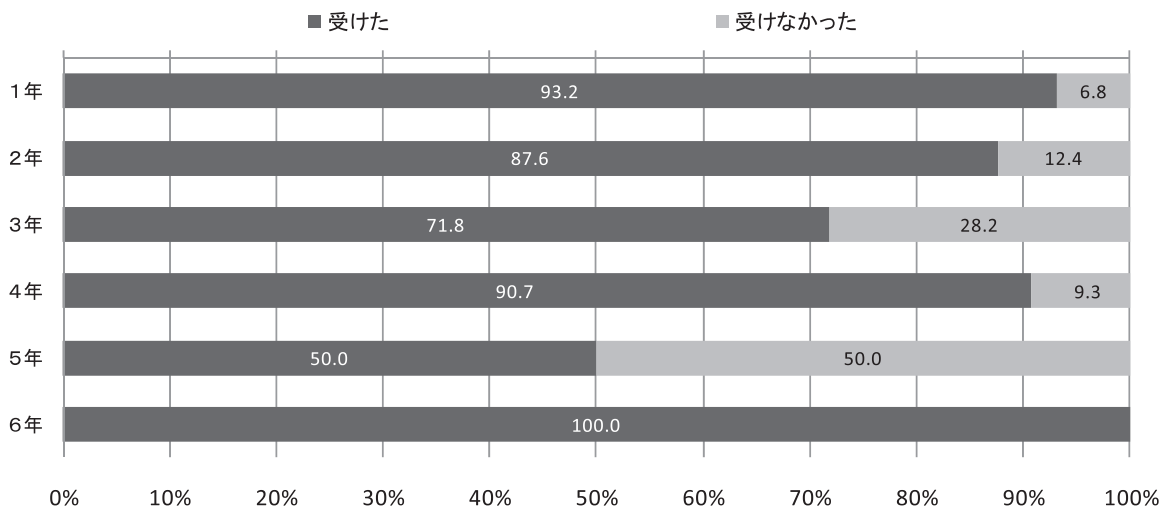
[教育地域科学部]



[医学部]

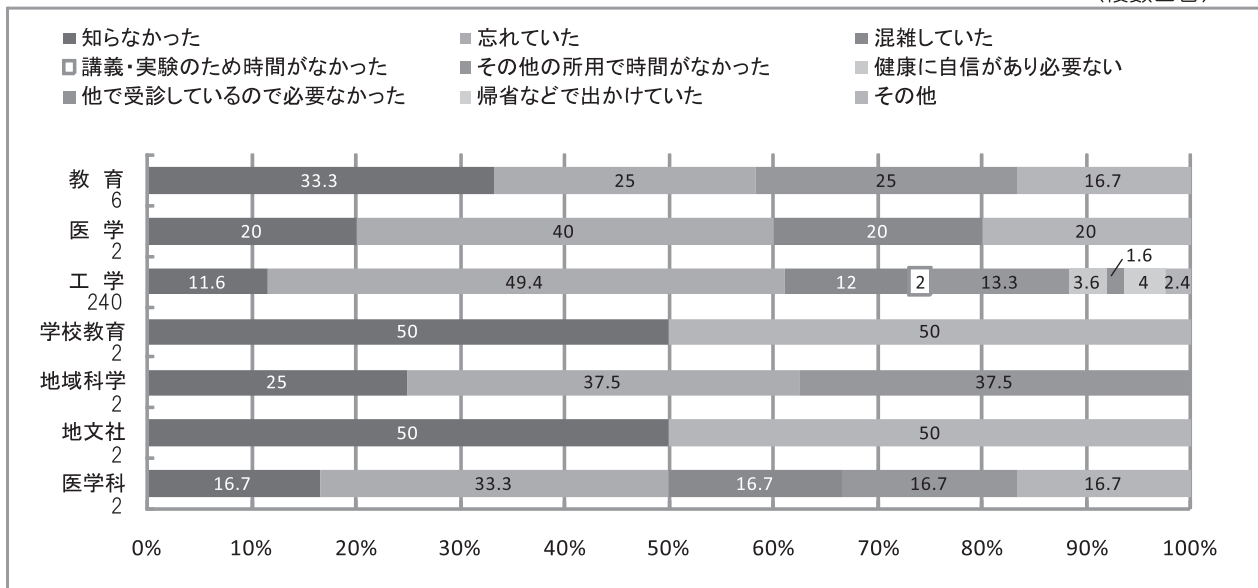


[工学部]



F3-2 受けなかった理由

(複数回答)

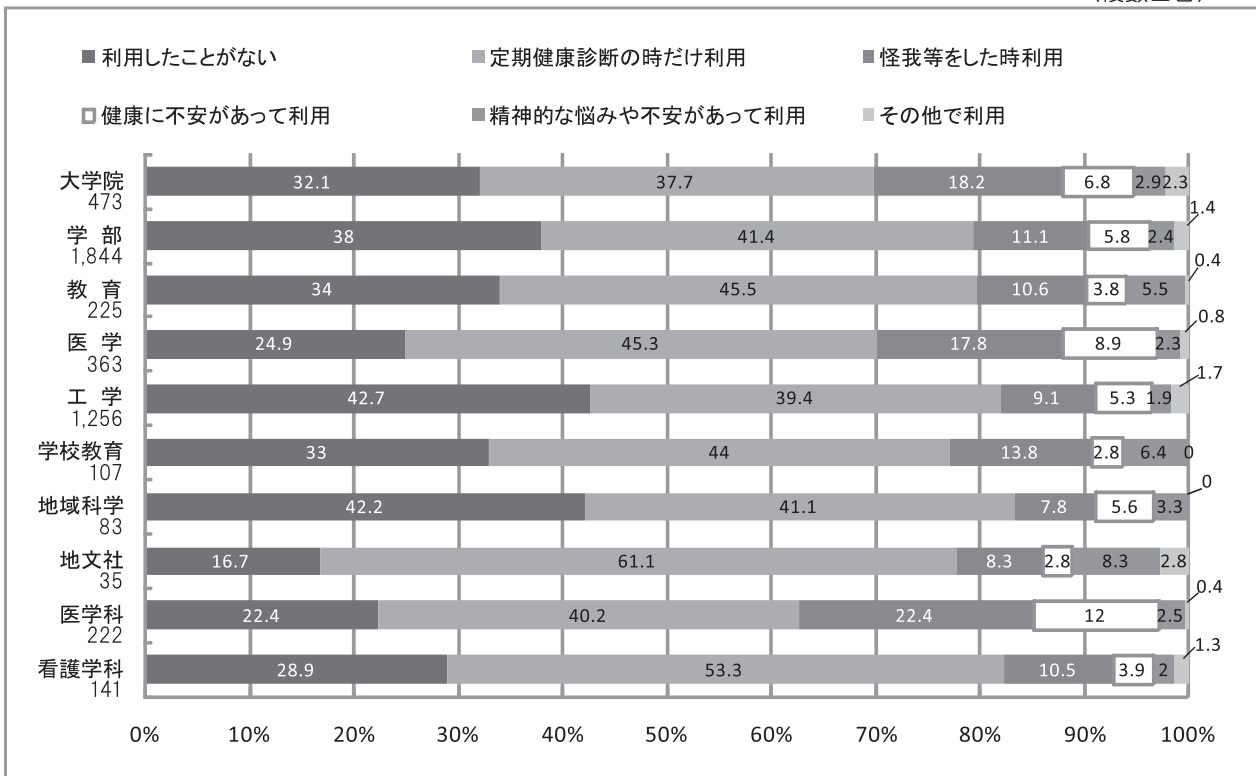


□概要

平成12年度は、「忘れていた」「講義・実験のため時間がなかった」「混雑していた」等が目立ったが、今回は「忘れていた」「その他の所用で時間がなかった」「知らなかった」「混雑していた」が目立った。「講義・実験のため時間がなかった」は、ごくわずかであった。

F4-1 保健管理センター（文京）・保健センター（松岡）の利用

（複数回答）

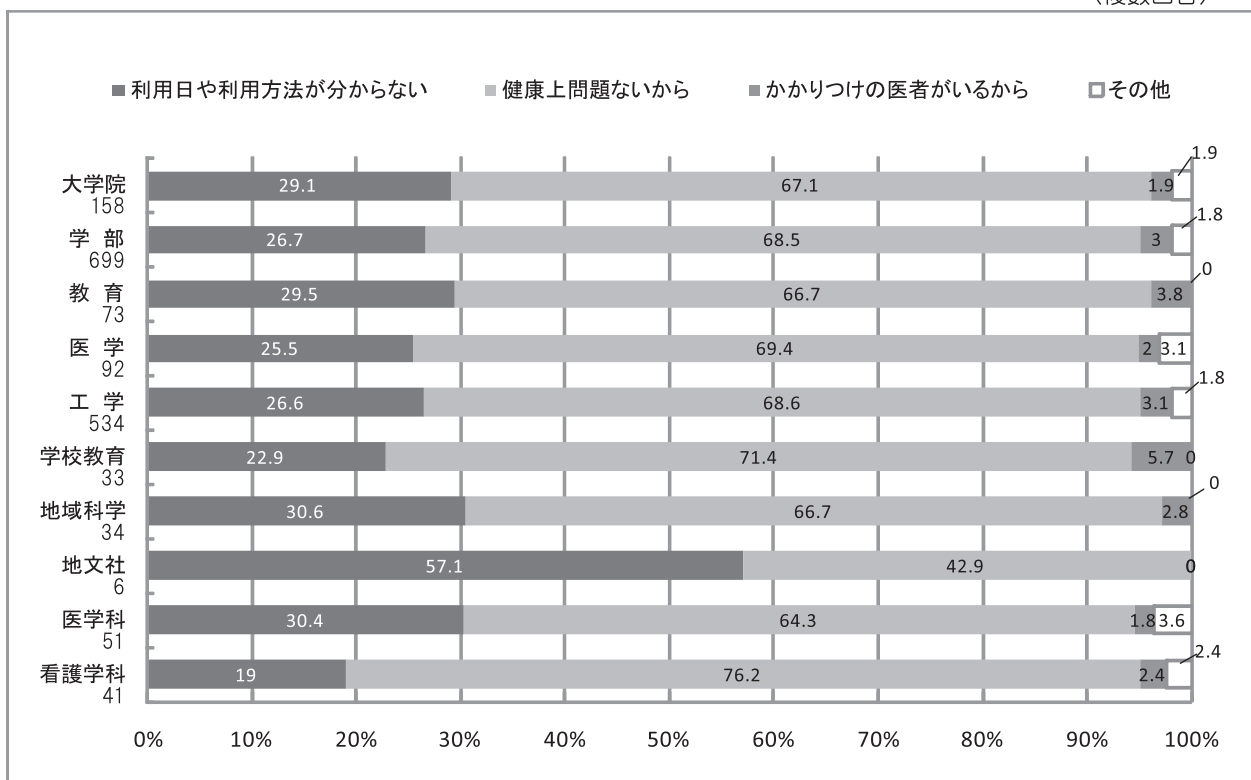


□概要

今回、約40%近い学生が「利用したことがない」と回答していて、平成12年度の「利用したことがない（17%）」を大きく上回っている。平成12年度は「精神的な悩みや不安があって利用した」学生はなかったが、今回は2.5%であった。

F4-2 利用しない理由

(複数回答)



□概要

平成12年度は、「健康上問題がない」は76.5%、「利用日や利用方法が分からない」は、17.6%であったが、今回はそれぞれ71.8%、28.0%であった。「利用日や利用方法が分からない」が増加しているため、周知方法を検討する必要がある。

□まとめ

調査した学生のうち1割弱は自分が不健康であると感じている。この数字は、前回の調査から半減している。不健康の理由として、「睡眠不足」と回答した学生が4割近くあり、前回から大きく増加した。

また、前回と同様7割の学生が何らかの悩みや不安を抱えていた。内容も勉学や進路等と大学と直接関わるものが一番多い点は変わりなかったが、経済的悩みが後退して、交友関係、異性問題、自分の性格が増えている。交友関係は同性との関係であり、自分の性格の問題は、自分との関係であると考えられる。

保健管理センターについては、4割近い学生が利用したことがないと回答した。これは前回は大きく上回った。利用したことがない学生の3割が、「利用日や利用方法が分からない」と回答した。近年の学生の情報収集の傾向や特徴を考慮した上で広報・周知を考える必要がある。